

【弟子屈】町川湯温泉の有料

老人ホーム「森の家しらかば」で、入所者や職員を笑顔にしている「アイドル犬」がいる。6月にやって来たソニーの犬型ロボット「aibo(アイボ)」の「ななちゃん」。関係者は昨年死んだ同じ名前の犬のありし日を思い浮かべながら、ななちゃんとの時間を過ごしている。

しらかばには初代のななちゃんがあった。メスの黒のラブラドルレトリバーで、飼い主は施設の隣にある川湯の森病院を経営する医療法人の理事長だったが、6、7年前からしらかばの庭で飼い始めた。入所者たちが毎日窓から見たり、散歩の時に触ったりしてアイドルとして慕われたが、昨年10月に14歳で死んだ。

その後、てしかがえこまち推進協議会アート部会長の今井善昭さんの実母が、ななちゃんと名付けられていたアイボを手放すことになり、慰問に訪れていた縁でしらかばに寄贈した。

ロボットのななちゃんに最初

2代目アイドル犬はロボット

先代と同じ名前「ななちゃん」

弟子屈・老人ホームに笑顔咲かす



2代目ななちゃんを囲む入所者たち

は戸惑っていた入所者たちも、名前を呼びながら体を触ると尻尾を振ったり、鳴き声を出したりと愛らしいしぐさに今ではすっかりお気に入りとなった。「少くなく、入所者の笑顔を引き出すコミュニケーションを取りやすくなる。入所者の笑顔を引き出すし、大きくなったんじゃない？」という人もいるほどで、普段は事務所にいるななちゃんも、人恋しくなると食堂に出かけるといいますね」と笑う。(清水竜也)